

第3学年 体育科（保健）学習指導案

日 時 平成16年9月30日（木）5校時
児童数 男4名 女7名 計 11名
指導者 高橋正昭

1. 単元名 からだをせいけつに

～ 歯のせいけつを通して～

2. 単元について

（1）単元設定の理由

学習指導要領には、3学年の保健領域の指導内容として「健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活の仕方が理解できるようにする、ア食事・運動・休養および睡眠の調和のとれた生活、イ体の清潔の保持、生活環境の整備」が示されている。健康を保持増進するためには何より健康によい生活を毎日送ることが大切である。児童が自ら進んで健康によい生活を実践できるための基礎として健康の大切さを認識させるとともに、家庭や学校における毎日の生活に関心をもたせ、健康によい生活の仕方を理解できるようにする必要がある。

そこでここでは本校の健康教育の柱である「歯・口の健康づくり」と関連させ、からだを清潔に保つことの大切さを「歯のせいけつ」を窓口を考えさせ、歯・口の健康、そして健康な生活を実践していこうとする態度を育成していきたいと考え、本主題を設定した。

（2）児童について

3年生の「歯・口の健康づくりアンケート」から歯みがきに対する自主性を見たとき、（家庭において）11名中8名が「言われてからみがく」、2名は「言われてもみがかない」、「自分から進んでみがく」は1名であり、「言われてもみがかない」理由には、「学校でみがいているから大丈夫」という児童もいて、家庭でもみがかなければという意識の低いことが明らかになった。

また歯科検診結果からは、11名中6名がむし歯をもっていることが分かった。しかもC0やむし歯は奥歯のほうに集中していることが共通している点であった。歯と口の健康づくりについては他の領域等でも取り組みを進めているが、このような実態をもとに保健学習においても「歯のせいけつ」を取り上げ深く理解させたいと考えた。

（3）指導にあたって

本時では、始めに前時に学習している健康な生活の仕方を想起させながら、不健康な生活を送るとどのような結果になるのかを考えさせたい。その中から歯・口の健康の保持の必要性に気づかせ、むし歯はなぜできるかという課題解決の学習を通して、むし歯を防ぐには自分から進んでしっかり歯をみがき、自分の歯は自分で守るという意識をもたせるようにしたい。指導にあたっては児童の興味・関心を喚起する資料提示や「ふかめる」段階で課題解決に役に立つような教材・教具を工夫し、児童の意欲的な学習を促すようにしたい。

3. 指導の目標

- ・ 自分の生活を見直すことや、健康によい一日の生活の仕方を実践する意欲をもてるようにする。
- ・ 健康を保持増進するには、一日の生活の仕方が深く関わっていて、なかでも食事、運動、休養睡眠の調和がとれた生活を続けることの大切さを理解できるようにする。
- ・ 毎日を健康に過ごすためには、からだを清潔に保つことや、明るさ、換気などの生活環境を整えることなどが必要であることを理解できるようにする。
- ・ 健康を保持増進するために、個人や家庭の努力のみならず、学校でもさまざまな保健活動が行われていることを理解できるようにする。

4. 指導計画

3 学年「けんこうな生活」

| 章 名 | 時間 | 学 習 内 容 |
|----------------------|----|--|
| 1. 一日の生活 | 1 | 一日の生活を振り返り、生活の仕方と健康が深くかかわっていることを理解する。 |
| 2. からだをせいけつに (本時) | 1 | 健康な生活を送るためには、からだの清潔が大切なことを理解する。 |
| 3. けんこうと部屋の空気や明るさ | 1 | 健康な生活を送るには、生活する部屋の空気や明るさに気をつけることが大切なことを理解する。 |
| 4. けんこうを守る活動 | 1 | 健康な生活を送るために、いろいろな工夫がなされていることを理解する。 |

5. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ からだを清潔に保つことの大切さを知り、実践しようとする意欲をもつことができる。
- ・ むし歯ができるわけについて考え、実験等を通してむし歯ができる原因とその過程を理解することができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

| 評価規準 評価の観点 | A 十分満足できる | B おおむね満足できる | C 努力を要する児童への手だて |
|---------------|--------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 関心・意欲・態度 | からだを清潔に保つことに関心をもち、自分の意見や考えを言おうとしている。 | からだを清潔に保つ必要性が分かる。 | 不衛生な生活習慣によってどのような結果を招くか再度指導する。 |
| 知識・理解 | からだを清潔に保つ方法を知り、むし歯の原因と予防方法を知る。 | からだを清潔に保つ方法を知り、むし歯の予防方法を知る。 | からだを清潔に保つための方法について指導する |

(3) 展開

| 段階 | 学 習 活 動 | | 教師の支援と評価 | 備 考 |
|-------------|--|--|---|---|
| | 教師のはたらきかけ | 予想される児童の反応 | | |
| つかむ 20分 | <p>1. からだを清潔に保つための生活行動について想起する。</p> <p>2. 不衛生な生活を送るとどうなるのか考える。 ・下着の働きについて ・身の回りの雑菌</p> <p>3. 学習課題をつかむ。 けんこうな生活について考え、むし歯ができる わけを知ろう。</p> | <p>・お風呂に入る。 ・歯みがきをする。 ・服、下着を着替える。 ・爪を切る。 ・手を洗う。</p> <p>・病気になる。 ・早く死んでしまう。</p> | <p>・一般的な清潔な生活行動を押さえたうえで、歯・口の衛生、むし歯予防に焦点をあてていく。</p> <p>・下着の働きを調べる。 ・寒天培養の結果を知らせる</p> | <p>・アミノ酸 検出試薬 ・寒天培養</p> |
| ふかめる 20分 | <p>4. むし歯はどのようにしてできるのか予想する。</p> <p>5. むし歯の様子を知る。</p> <p>6. むし歯ができる原因を知る。 ・歯と砂糖の関係</p> <p>7. むし歯を防ぐ歯みがきの大切さを知る。</p> | <p>・歯みがきをしない。 ・砂糖の食べ過ぎ。</p> <p>・歯が溶けているようだ。 ・大きく穴が開いている。 ・砂糖。</p> <p>・歯みがき ・砂糖 ・ミュータンス菌。</p> | <p>・歯を砂糖に漬けておいたものの変化を調べる。 ・本物の歯を使った実験を通して、原因菌がミュータンス菌という常在菌であり、えさである砂糖を除去することが予防につながることを理解させる。 (評) むし歯ができる原因とその過程が理解できたか。</p> | <p>・むし歯標本</p> <p>・砂糖漬け ・コーラ漬けの歯</p> <p>・染出し写真</p> |
| まとめ 5分 | <p>8. 学習のまとめをする。 ・衛生一般の側面から ・口、歯の健康づくりの側面から</p> | <p>・学習を振り返る。</p> | <p>・学習を振り返りながら自分の生活の改善を図ろうとする意欲付けをする。 (評) 自分の歯みがきの目標をもち、自分から進んでみがこうとする意欲をもてたか。</p> | <p>・顕微投影機</p> |